

平成28年度 第2回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成28年6月24日(金) 13:30~15:00
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、今井正和委員、小林楨太郎委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、吉永郁生委員、齊藤明紀委員、北崎寛委員、片木威委員、角紀代恵委員、田中仁成委員、中島廣光委員、山本仁志委員
[13名/15名]
- 欠席者 小林朋道委員、木下法広委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 平成27年度業務実績について

学長から、平成27年度業務実績の概要について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見>

- ・英語教育やオープンキャンパスに関するものなど大学の自己評価の考え方が分りにくい項目があった。
 - 英語教育についてはまだまだ課題があると考え、辛目に採点した。また、オープンキャンパスについては中期目標の目標値が過大であるため設置者に見直しを要望している。
 - その他、次期中期計画の策定に向けて、県・市内出身者への支援、留学のあり方、サステナビリティ研究所・地域イノベーション研究センターのあり方及び入試システムなどについて検討を進めたい。
- ・入試制度について検討する際には、地元の受験生にどうしたら公立鳥取環境大学の方を向いてもらえるのかということも考えてほしい。
- ・英語教育も大切であるが、論理的に日本語を話し、きちんとした文章を書くことができていない学生が多いように感じる。
 - 大学としてもきちんとした論文を書いてもらいたいという思いから、1年次の前期、後期に文書作成の授業を行っている。
 - 英語については今年度から45分授業を取り入れ授業の回数を増やすとともに、2年次後期まで履修期間を延ばす等の見直しを行った。また、専門科目の中で英語の教材を取り入れている教員もいる。

3 報告事項

(1) 平成27年度決算について

河原副理事長から平成27年度財務諸表及び決算報告書等についての報告があった。

<主な意見>

- ・目的積立金が増えても設置者の負担が減るだけなのでは。
 - 今後必要となる施設の修繕等に相当の経費がかかるため、積立金を確保し、備えておかなければならない。また、積立金の確保状況を見ながら、セミナーハウスの整備を考えたい。

(2) 平成28年度補正予算について

岡部理事兼事務局長から、新たに決定した国際交流に係る経費などに係る平成28年度補正予算案件について報告があった。

(3) 翌年度以降の債務負担行為の案件について

学長から、情報システムのアウトソーシングなどに係る債務負担行為案件について報告があった。

(4) 平成28年度教学体制

学長から、人間形成教育センターに新たに外国語担当の副センター長を置いた旨の報告があった。

(5) 岩美町との地域活性化等を目的とした協定の締結について

学長から、岩美町との協定締結の経過等について報告があった。

(6) 近況報告

岡部理事兼事務局長から、大学や学生の地域連携等の取組など大学の近況について報告があった。

4 その他

次回審議会は10月を予定。

5 閉 会